

氏名	なかにし のりお 中西 紀夫	職名	教授（修士（法学））
専門分野	法学、環境法、刑法		
所属学会	日本私法学会、ビジネス・ロー研究会（名城）、日本刑法学会（名古屋部会）、日本経営学会、実践経営学会、日本環境共生学会		
担当科目	法学、日本国憲法、公務のための法学、都市法/環境法、政策法務、基礎演習 a・b、専門演習 a・b・c・d、キャリア基礎 I・II・III		
<b>I 教育活動</b>			
教育実践上の主な業績		概 要	
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		<p>2年の前学期からの演習（ゼミ）では、各自が基礎法学の知識を深めながら、最近の新聞等で掲載されているような社会問題も素材として、主体的に調査したうえで自分自身の意見を持つことの大切さを伝えている。</p> <p>一般講義の法律科目では、必要に応じて、添削指導を前提としたレポートや授業で説明した内容の自己採点チェックテストを導入しているものもある。また、少人数の授業では、学生による教科書の講読も取り入れている。さらに、公務員対策の授業では、必要に応じて小テストも実施し採点后、次の週には答案用紙を学生に返却するようにしている。</p> <p>コロナ禍により始まったオンデマンド授業では、メールアドレスを受講生全員に教えて、いつでも質問に対応できるようにしている。</p> <p>これらは、長期的に継続していきたいと考えている。</p>	
2. 作成した教科書、教材、参考書		<p>講義用に作成した教材</p> <p>『法学』、『日本国憲法』で使用してきた配布資料は、新聞や判例集以外はほとんど自分で執筆し、作成したものである。また、これらの科目では、各回で作成した確認問題を導入している。</p> <p>『公務のための法学』では、資料を編集して印刷した過去問や自らが執筆したプリント類も使用している。</p> <p>『キャリア基礎II』のテキストで、「自己分析実習①過去の自分を振り返る」の箇所の作成を行っている。</p>	
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし	
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし	
<b>II 研究活動</b>			
なし			
<b>III 社会における主な活動</b>			
学会活動			
2019年5月2日～2021年5月1日 （現在に至る）		ビジネス・ロー研究会（名城）顧問	